

14/21
870

「お黒付き」求め、接近

■政治意識団に推薦議論書「の題名を求めていた世界平和統一家庭連合（旧统一教会）の闇理」团体は、防衛力強化や家庭の重視など保守的な政策の推進を掲げる。教団側によれば、「いつた主張と親和性の高い自民党議員と「協定」を結ぶ」と、理念の実現や影響力のアピールにつながる狙いがありそうだ。=●面参照

正統一教会推薦確認書

(党の政策決定に影響を及ぼす)ことなど確証していふ。「十日の予算委員会。確認書を巡る野党議員の追及」と、岸田文雄首相は強い口調で反論した。

しかし、匿名を条件に取材に応じた自民党衆院議員も含むものの教団の田中幹事長は「政策協定だと受け取つた」と語る。教団関係者が「余つてまじい人がいる」と漏洩面会、書面へサインを捺められたが断つた。「問題のある団体と議員と議員を繋ぐ」のが多分かっていたので」と如く明ける。

「平和大使協議会」も外に「平和連合は自民党との間に組織的な関係はない」とするが、そのものの中の教団の田中幹事長は八月の記者会見で、「平和連合が国政と関わる度合いが大きい」。基本終結は共産主義と対峙しており、その視点から自民党の議員と議員を繋ぐのが多い」と解説した。

「世界平和連合」は「国際連合」を主軸に、外交・安保や家庭・教育を中心とする「一元化された組織」をめざす。一方で、家庭力の強化、世界平和への貢献を政策の柱に掲げた新しい団体でもある。

推薦確認書

- 「憲法改正」・安全保障体制を強化する
・家庭教育支援法及び青少年健全育成基本法の国会での制定に取り組む
二、「LGBT」問題・同性婚合法化に関するでは慎重に扱う

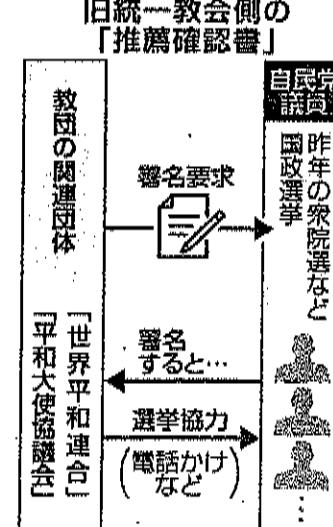
理念実現へ 自民議員と「協定

す。特に、家族愛に基いて、性の倫理観を高め、族への責任を果たす」などある。

△愛化
確認書には憲法改正、安
全保障本別判決など、同半島
両方が無体にて争うのは成
ったらしい現実があ
る。熱心に争っているのに付

合法化への慎重な対応、「日本トネル」の実現推進といった項目が並ぶ。自民党の参院選政策パンフレットの冒頭は「毅然とした外交」「日本を守る」。同性婚には政策集での言及すらない。井上平和連合は今年の参院選で、第一次安倍内閣で安倍氏の政務秘書官だった井上謙行氏を支援したりとを認めている。井上氏の事務所は「確認書は見た」と「もない」とするものの、落選した二〇一九年の参院選では鶴光立園の表現や運営を認めた。日本大の藤原進名誉教授（日本宗教史）は「自民党といかに同じ志を持たむ連付議を得てしるかを内外にアピールしたい」といって憲団だより。署名した議員は「票になら」と深く考えなかつた可能性があるが、過去に大きな人権侵害を起した団体に対し、あまりに脇が甘い」と指摘する。

政策面への影響も「全くない」といふことになりえず、教団側と協力で進める政策に力点が置かれた懸念がある」と懸念した。



※自民党国会議員や教団関係者への取材による